

カジノビジネス生活者調査 第一回 速報

東京お台場にカジノができた場合、行ってみたいのは64.6%

「普段の週末」「友達と」「2-3時間程度」「ルーレットやスロットマシン」で楽しみたい。
平均掛け金は約2万円。

現在日本では、都市型複合観光施設としてカジノの開設に関心が高まってきており、政党でも合法化へ向けた推進議員連盟が設立され、国会での議員立法の提出も想定されています。

こうした動きに対し、博報堂カジノビジネス研究会では、生活者のカジノに対する意識と実態はどのようになっているのか明らかにするために、本年3月後半に調査を実施いたしました。このたび、その速報がまとまりましたのでご紹介致します。

今回の調査でまず明らかになったのは、カジノ合法化に対する関心の高さで、92.6%と大半の人が合法化の動きがあることについて「知っている」と答えています。

また東京のお台場にカジノを設置する動きがあることについては81.0%が知っており、64.6%の人が行ってみたいと答えています。今までにない都市型複合観光施設として、大きな期待が寄せられているといえそうです。

行きたいとしている人の楽しみ方としては、「半年に一度程度」「普段の週末に」「友達と」「ルーレットやスロットマシンを中心に」「2~3時間程度」「2万円程度賭けて」が最も高い結果となりました。また、カジノだけではなくショー・食事・ショッピングなどが、一つの場所で楽しめること、明るく安心感があることも、多くの人から期待されています。

生活者にとって、カジノは「普段の日常生活の中でのちょっとした気分転換に、友達と娯楽の一つとして気軽に楽しむ」というような、非日常的なテーマパークやエンターテイメント施設に近い気分のものとして期待されているようで、「明るく安心できる雰囲気の中で非日常が味わえる施設」としていくことが、今後、生活者に受け入れられていくためには重要になっていきそうです。

< 調査概要 >

調査対象： 首都圏在住の20-60代の男女 合計500人（各年代男女50人等割付け）
調査手法： インターネット調査
調査時期： 2003年3月

博報堂カジノビジネス研究会とは

現在日本でも合法化に向けて議論されているカジノビジネスについて、生活者視点に立った調査をもとに、ビジネスモデルを検討する研究会です。

日本におけるカジノビジネス実現に向けた、調査分析、情報発信、コンサルティング、カジノを含めた地域振興策の計画・推進を関係企業と協働で行ないます。

< 本件に関するお問い合わせ >

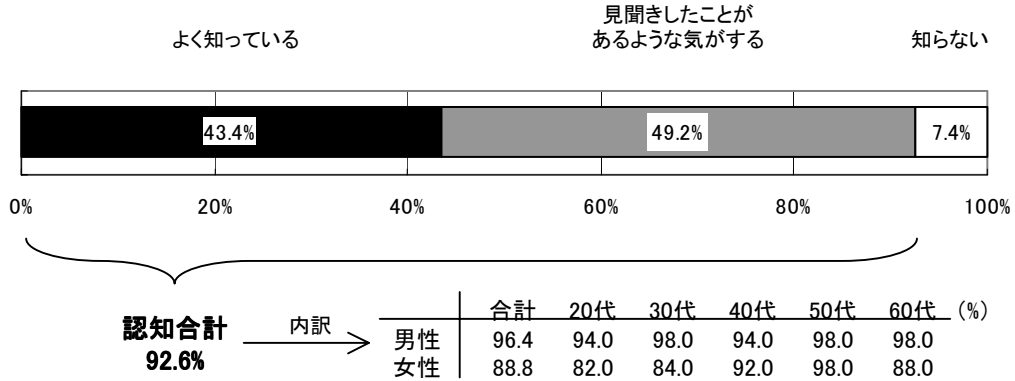
博報堂 広報室
第4スタジオ・アップ・リング 局

西村・宮川 Tel 03-5446-6161
島野 Tel 03-5446-8162

■カジノ合法化の動きは、92.8%が認知。カジノの合法化に対する関心は高い。

日本におけるカジノの合法化に対しては、全体の92.6%と非常に多くの人何らかのかたちで見聞きしたことがあると回答。大きな関心を持たれているといえます。性年代別で見た場合、女性の20・30代では若干低い傾向にありますが、全ての層を通じて80%以上の認知を得ており、男女ともに各世代を通じた幅広い関心を得ているようです。

Q.最近日本でも、法律を改正してカジノを合法化したうえで、海外にあるようなカジノを建設しようという動きがあります。あなたはこのようなことをご存知ですか。

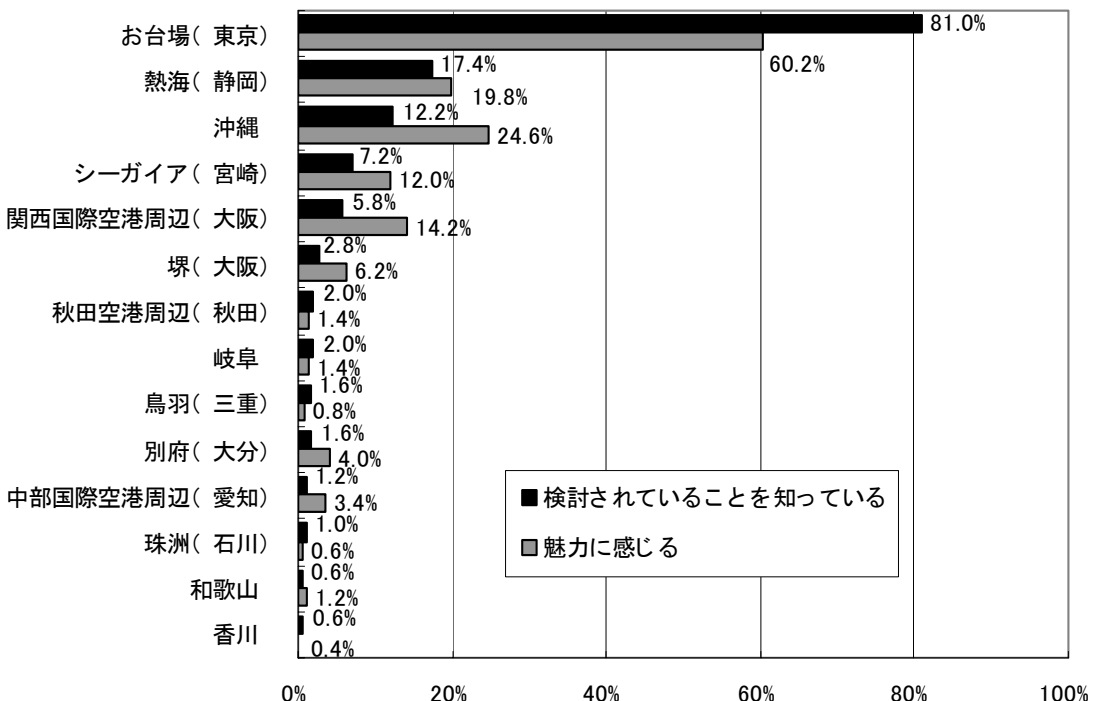


■カジノ想定地、東京お台場は高い認知。他の想定地はまだそれほど知られていない。

全国各地で議論されているカジノについてどの程度知られているか聞いたところ、東京お台場が81.0%と圧倒的でした。次いで、熱海の17.4%となっています。調査対象者が首都圏であるため東京お台場の関心が高いと言えますが、首都圏からの集客を考えた場合、全国各地の想定地でも今後認知をあげていく必要があります。

また魅力を感じる場所としては、60.2%のお台場に次いで、24.6%の沖縄、19.8%の熱海があげられています。温泉やリゾート地としての魅力が、カジノとしての魅力を増していると言えそうです。

Q.現在、以下のような場所等でカジノ建設の動きがあります。あてはまるものを全てお答えください。



■お台場にカジノができれば、64.6%が「行ってみたい」。

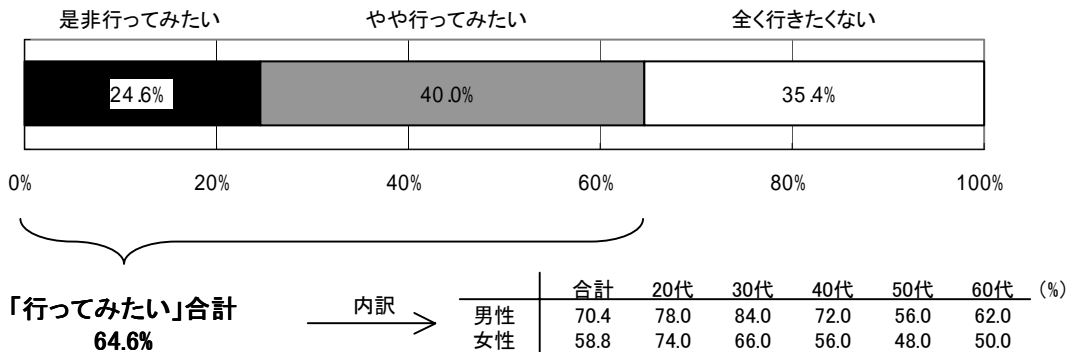
男性20-40代・女性20代を中心に、各性年代を通じて高い意向。

お台場でのカジノを調査対象者に具体的にイメージしてもらって回答してもらうため、下記のような仮定を提示して調査した結果、こうしたカジノを中心とした複合娯楽施設ができた場合、64.6%の人が「行きたい」と回答しました。比較的高いのは、男性20-40代と女性20代ですが、各性年代を通じて幅広い支持を得ています。

今までにない都市型複合娯楽施設としての期待が寄せられていると言えそうです。

Q.東京のお台場のカジノについてお伺いします。

この計画では、場内は海外のカジノのように、テーブルゲーム（ブラックジャックやルーレットなど）やスロットマシンなど様々なゲームで構成されます。入場するとお金をチップやコインなどにかえてゲームに賭けて、儲かった分は自由に直接換金することができます。カジノの周囲にはレストランや映画館、劇場やホテルなどが併設され、にぎわいのある街を形成します。このようなカジノができた場合、行ってみたいですか。



■カジノの楽しみ方は「普段の週末」に「友達」と気軽に「ゲームで」遊びたい

行きたい時としては「半年に一度程度」「普段の週末に」が最も多く、お台場という、日常と非日常の間という場所のイメージが反映しているようです。また行きたい相手としては友達が約半数を占めています。

遊びたいゲームとしてはルーレットとスロットマシンが共に70%代後半で。ブラックジャックやポーカー、バカラなどの駆け引きが必要なカードゲームに比べ、ルールが簡単で気軽に参加できるゲームが支持されているといえそうです。

どのくらいの頻度で

ほぼ毎日	0.3%
週に2-3回	0.6%
週に一回	3.7%
月に2-3回	6.8%
月に一度	17.6%
2-3ヶ月に一度	17.6%
半年に一度	23.8%
年に一度	20.1%
それ以下	9.3%

いつ

普段の週末に	57.0%
夏休みなど長期の休みに	23.5%
連休などに	35.6%
平日に休みを取って	9.9%
平日の会社帰りに	8.0%

誰と

友達と	48.6%
夫婦で	36.2%
家族と	29.4%
カップルで	21.7%
一人で	21.4%
会社の同僚と	15.2%
仕事関係の人と (接待など)	2.5%

何を

ルーレット	79.6%
スロットマシン	76.8%
ブラックジャック	35.3%
ポーカー	26.3%
ビデオゲーム (ポーカーなど)	14.6%
バカラ	14.6%
クラブス	1.5%

どれくらい

1時間以下	5.0%
2-3時間	54.8%
4-5時間	30.0%
6-7時間	3.7%
8-9時間	0.9%
10-11時間	0.0%
12時間以上(日帰り)	1.9%
1泊2日	3.7%
2泊3日以上	0.0%

■カジノで使うのは平均約2万円、全体では平均約4万5千円。全体的に男性層が高め。

カジノでの消費金額の予測では、全体ではカジノの掛け金として約2万円、レストランでの食事やショッピングなどその他の娯楽との合計では約4万5千円となりました。

このうちカジノへの掛け金は男性が高く、男性40代では約3万5千円に達します。一方女性は全体的に低く、女性平均は約1万4千円にとどまります。

一方ショッピングに関しては女性の平均値が8000円を上回るのに対し、男性は6000円代にとどまります。カジノとショッピング施設のバランスの取り方が、男性女性ともに楽しめる娯楽施設としての鍵になりそうです。

Q. あなたはこのカジノで、一回行くごとにどの程度のお金を使うと思いますか。

全体平均		合計 45,065円	カジノ 19,974円	レストラン 5,442円	ショー/演劇 3,142円	ショッピング 7,382円	宿泊 6,519円	その他 2,606円
属性別	男性	合計	25,351	5,587	3,105	6,669	6,769	3,093
		20代	17,763	3,934	2,908	5,351	4,111	490
		30代	26,195	5,073	2,763	7,316	6,639	4,686
		40代	34,722	7,375	3,352	9,471	10,606	4,966
		50代	25,821	4,393	3,296	4,120	4,040	2,583
		60代	22,226	7,350	3,345	6,385	8,385	2,348
	女性	合計	13,566	5,269	3,186	8,174	6,237	2,025
		20代	13,225	4,194	1,794	6,944	5,794	1,125
		30代	14,758	5,422	4,121	10,290	6,286	3,250
		40代	12,054	5,500	3,732	9,786	7,429	3,273
		50代	16,584	4,625	3,500	6,459	6,875	2,222
		60代	11,280	6,980	3,080	7,160	4,840	652

全体では男性が平均1万円以上高い。 男女間の差はカジノで目立つ。 ショッピングでは女性が大きく上回る。 (円)

■期待するカジノのイメージ;「明るく」「安心感」ある雰囲気の中での「非日常性」

お台場のカジノに対する期待として最も高いのは「さまざまな娯楽が楽しめること」。カジノだけを楽しむのではなく、ショッピングや飲食などさまざまな娯楽と共に楽しみたいようです。

次いで、「安心感があること」「明るい雰囲気があること」が高く求められています。旧来型の賭博イメージではなく、テーマパークやエンターテイメント施設に近い「健全な非日常イメージ」を期待されているといえそうです。

Q. あなたは、お台場にカジノができるとしたら、どのようなことを期待されますか。以下の項目の中で、あてはまるもの全てにお答えください。

